

氏名	高村夏輝	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	哲学・倫理学				
学位	博士（学術）				
学歴	東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了				
経歴	松蔭大学経営文化学部講師を経て現職				
所属学会（役職）	日本科学哲学会、科学基礎論学会、応用哲学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	ラッセル的一元論としての素朴実在論	単著	あり	Nagoya Journal of philosophy, vol15, pp.1-13.	高村夏輝	2021年6月
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	大会企画シンポジウム "Perception as Information Detection": 生態心理学の現在	共著	日本生態心理学会第9回大会	司会 青山 慶（岩手大学）・野中 哲士（神戸大学） 報告 青山 慶（岩手大学）・奥野 真之（立教大学）・西尾 千尋（中京大学）・山崎 寛恵（東京学芸大学） 指定討論 工藤 和俊（東京大学）・高村 夏輝（埼玉県立大学）・豊泉 俊大（大阪大学）・樋口貴広（東京都立大	2022年3月	
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	ラッセル的一元論による現象的意識の解明		研究代表者	2021～2025年度	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	倫理学	○	30	多様な問題に対して倫理的に考えるために必要な基本的な議論を紹介した。複数回のレポートを課して授業内容の理解を確認しながら進めた。		
2	生命倫理の諸問題	○	24	医療・生命・ケアに関わる倫理的問題を論じた。優生思想・優生学との関連を核として問題提起し、学生に考えさせた。		
3	哲学	○	15	心の存在と概念をめぐる現代の哲学的議論を紹介した。Zoomのブレイクアウトルーム機能を使用して、質疑応答の機会を複数回設けた。		
4	ヒューマンケア論		2	規範倫理学の代表的な立場である功利主義と義務論の立場を解説し、それによっては取り上げられない道徳的なポイントがケア関係には認められると論じた。		
5	生命の意味		4	自分の講義回では、「生きる意味」の問題がなぜ解答困難な問題なのかを説明し、学生に「生きる意味」があると主張している作品を取り上げて論じてもらった。他の教員・講師の担当回では質疑応答に参加した。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	教養ゼミ	○	8	大森莊藏の『流れとよどみ』を使用し、哲学的議論に親しんでもらう機会とした。10人の学生を2人ずつの5チームに分け、各チーム1章のまとめと議論のたたき台を用意してもらった。それを利用して、講義では5人2チームに分けて議論し、結果を報告してもらった。最後に、各チームに担当した章についてのレポートを執筆してもらい、思考の深度を確認した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア論体験実習		8	一年生向けの実習。コロナのため学外で行うことができず、Zoomを利用して教員や講演者の話をもとに、学生間での議論させ、学びの機会とした。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導	副指導
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	情報図書委員会		2020.4～2022.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	ハラスメント委員会		2020.4～2022.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			